

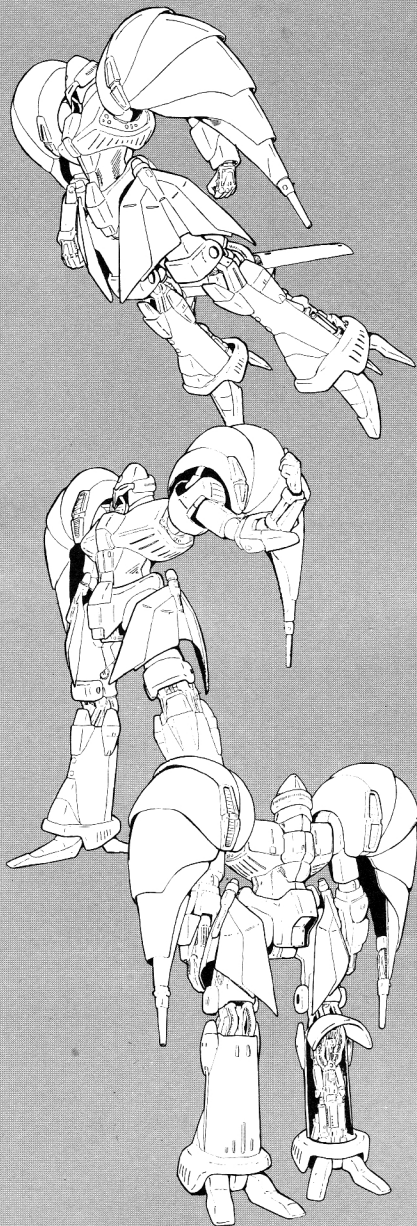
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

■HEAVY METAL "AUGE"

●写真の完成品は塗装してあります。

正規軍の女性情報将校ネイ・モー・ハンが乗用するA級ヘビーメタル。本来は、ベンタゴナ帝国の支配者オールドナ・ポセイダ専用ヘビーメタルとして製作されたもので、正規軍のヘビーメタルの中では、一番オールマイティな機能を持つ。そのため、機体全体は他のヘビーメタルよりも一廻り大きくなっており、エネルギー出力も、エルガイム等と比較して段違いに高くなっている。脚部のスペースに余裕があるため、両脚に一基ずつ飛行用のスーパー・フロッサー・システムが装備され、ランダム・スレートを開放して飛行することが可能である。本来の顔は、フェイス・ガードで防御され、顔面の攻撃に対しては防御シールドが作用する。ただし、シールド内からによる至近距離攻撃に対する防御システムは有していない。

オージェへの搭乗システムは、専用フロッサー・シートによって行われ、頭部が前方へスイングして、背中から乗り込み、本体とドッキングする。フロッサー・シートには、ハーネス(シートベルト)がなく、ヘッドライナー(A級ヘビーメタルの操縦者の総称)は、マグネット・ブロッカーによって背中を接着固定され、スパイラル・フローと同様にシート自体が浮遊して、飛行する。オージェへの搭乗には、ラダー(背中から伸びる手すり)を使用することもあるが、ラダーはエマーゼンシーの時のみで、通常は使用しない。両肩のラウンド・バイндаは、コンロッド・アクチュエーション・システムで、支柱を中心とする広角度可変運動ができる。このシステムによって、先端部のパワー・ランチャーの照準方向を多角度に向けることが可能である。また、ラウンド・バイнда内には、セイバー(4本)、ランサー(2本)、スロウランサー(多数)を収納し、用途に応じて、その他の武器も装備できる。全身、ツインメリット・コーティングされ、レーザー等の攻撃はある程度までエネルギー転換される。



#### ■正規軍ヘビーメタルについて

ヘビーメタル(人型戦闘マシン)は、ペンタゴナの科学技術の集大成である。現在に至ってようやくA級ヘビーメタルの誕生をみるが、ペンタゴナ・ワールドでは有機無機の資源をほとんど全部使い切っており、最上の資源を入手することは難しく、ヘビーメタルの大量生産は困難である。正規軍のヘビーメタルには、A級とB級があり、本来使用するべき材料を使ったタイプをA級ヘビーメタル。代用品で作られたタイプをB級ヘビーメタルと分類している。B級ヘビーメタルは、量産のきかないA級ヘビーメタルを補う目的で生産されたもので、基本的構造はA級ヘビーメタルとほぼ同じである。しかし、代用品を使用しているため、耐久エネルギー負荷の限界値が低く、パワー出力で大きな差が生じる。各機能も低いレベルで、性能もあらゆる面において劣っているため、正式な意味でのヘビーメタルとはいいがたいが、人型マシンの総称という定義の基に、ヘビーメタルの名で呼ばれている。

正規軍の代表的なB級ヘビーメタルには、アローンとグライアがあるが、各々、腕の構造やセンサー機構を簡略化することによってランチャーなどの戦闘用装備にパワーを集中させている。A級ヘビーメタルのセンサーシステムには、有機性のシステムを使用しているため、A級とB級との反応スピードに差が出るのは当然である。ポセイドルの近衛師団が開発した「バル=ブド」もB級ではあるが、A級ヘビーメタルとほぼ同じパワーを持ち、A級ヘビーメタルに限りなく近いB級ヘビーメタルと言える。ただ、A級の様にスタビライザーシステムが無く、「Sグライヤ」同様に外部にスタビライザーを付けている点が、構造的に大きな違いである。しかしながら、実際的にはA級もB級も同じ構造であり、状態の良し悪し、操縦者の腕の差、エネルギーのチャージ状況などで、A級がB級に負ける場合も有りえる。

なお、B級ヘビーメタルの操縦者はパイロット、A級ヘビーメタルの操縦者はヘッドライナーと呼ばれている。

- キットデータ ■商品名/ヘビーメタル・オージェ ■スケール/1/144 ■全高/140mm
- 価格/500円 ■発売/昭和59年7月
- ボックスアーティスト/増尾隆幸
- KIT No.0024429

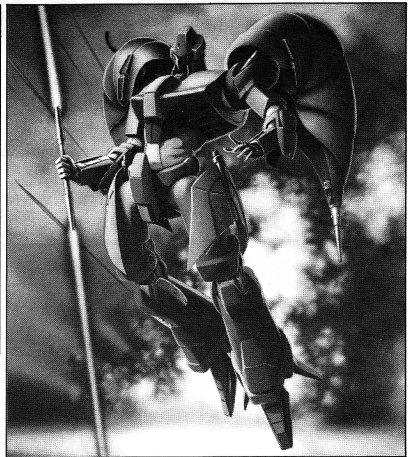
重戦機  
**イルガム**  
**.GAIN**

⑥重戦機 **オージェ**  
 1:144 SCALE  
 HEAVY METAL

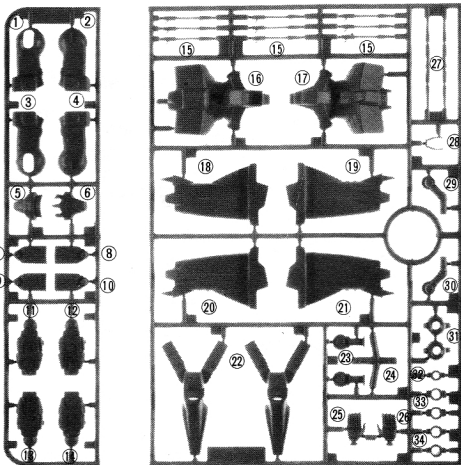
# AUGE

©創通エージェンシー・サンライズ

**BANDAI**



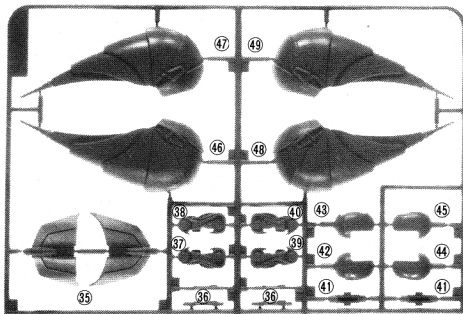
使用材質：スチロール樹脂 (PS)



《部品図》

●ビニールチューブ…1

部品の組み立ては失敗しないようにしましょう。



《お買い上げのお客様へ》

商品についてお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでお問い合わせください。また、部品をこわしたり、なくした人には実費にてお付けします。「部品注文カード」に必要な部品の番号・数量をはっきり書いて切り取り、郵便為替または定額小為替で下記までお申込みください。代金は部品代(1個40円×個数)＋郵送料(120円)＋為替料金(場合によって異なります)です。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・数量で郵送料が異なりますので、部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 株式会社バンダイ静岡工場お客様相談センター一部係  
 〒424-8735 静岡県清水市西久保305 ☎0543-65-5315

部品注文カード 1/144  
**オージェ**

必要な部品の番号・数量をかく

'84.7-24429-500

●注文された理由(○でかこむ)  
 こわした ・ なくした



ちゆう  
**注 意**

かなら  
**必ずお読みください**

- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないでください。

くどう  
**《組み立てる時の注意》**

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

しっせん やしん  
 ●実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---)は接着しないで、はめこむところです。接着するところには×印がついています。

このキットには、接着剤は入っておりません。お手数ですが、プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

プラモデル®をたのしくつくるために

1. 色をぬるときは、より安全な『水性塗料』のご使用をおすすめします。
2. 色をぬったり、接着剤を使うときは、必ず窓をあけてください。
3. 色をぬったり、接着剤を使うときは、火は絶対に使わないでください。

おきゃくさまへ

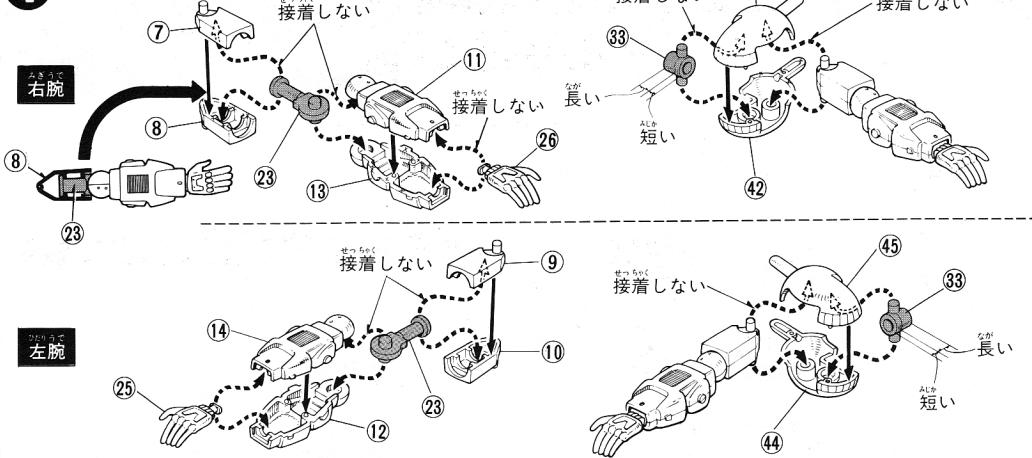
★とそうするときは、つぎのことをまもって、たたくつつかってください。  
 ●とそうするときや、とそうがおわったあと、しばらくのあいだ、まどをあけて、へやのくうきをいれかえてください。  
 ●とりようは、ながいあいだそうと、くせになることがありますから、すわないでください。  
 ●火のあるところでは、ぜったいにつかわないでください。  
 ●火のこったりようは、ふたをして、ちいさなこどもでが、とどかないところにおいてください。

お父様・お母様へ

塗装する時や接着剤を使う時は、下記の事を守って正しく使うよう、お子様にご指導をお願いします。  
 ●塗料や接着剤には有機溶剤が含まれており、長時間吸うとくせになることがあり、健康を害することもあるので、故意に吸わないでください。塗料や接着剤を使う時および使ったあと、しばらくの間窓を開け、換気をよくしてください。●火のあるところでは、絶対に使用しないでください。●接着剤は接着用以外には使わないでください。●幼児の手の届かないところに保存し、いたずらをしないように、注意してください。●残った塗料、接着剤は、ふたをして、直射日光を避けて保存してください。

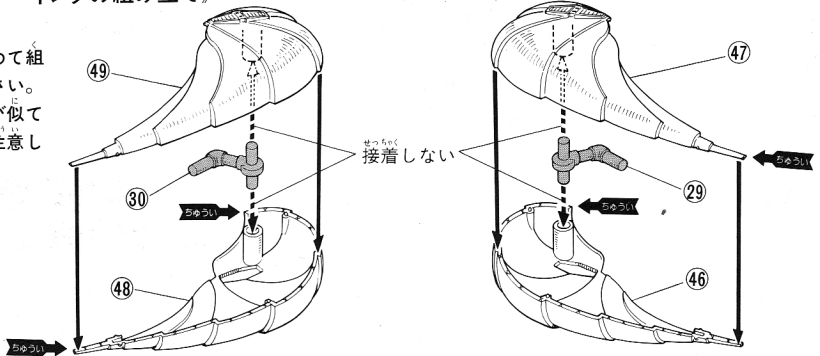
図の中の実線の矢印(→)は接着する所、点線の矢印(---)は接着しない所です。

1 《腕の組み立て》

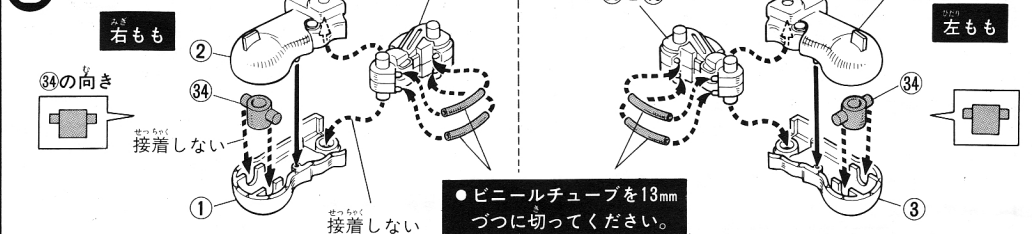


2 《ラウンド・バイダの組み立て》

※番号をたしかめて組み立ててください。  
 ③⑩と②⑨は形状が似ていますから、注意してください。



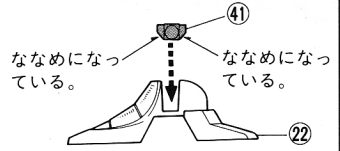
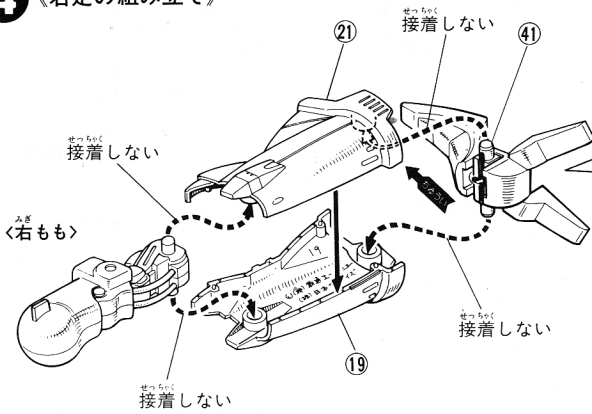
3 《足部品の組み立て》



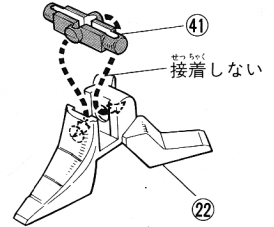
●ビニールチューブを13mm づつに切ってください。



#### 4 《右足の組み立て》

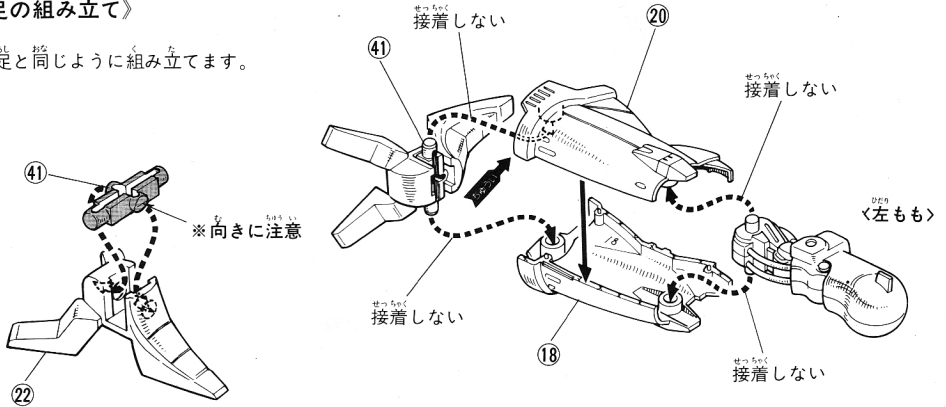


※41の向きに注意して22へはめこみ ます。



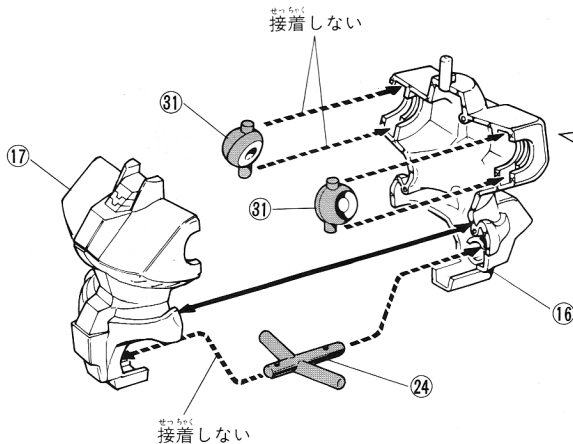
#### 《左足の組み立て》

●右足と同じように組み立てます。

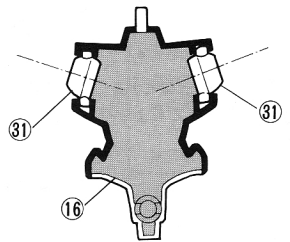


※向きに注意

#### 5 《胴体の組み立て》

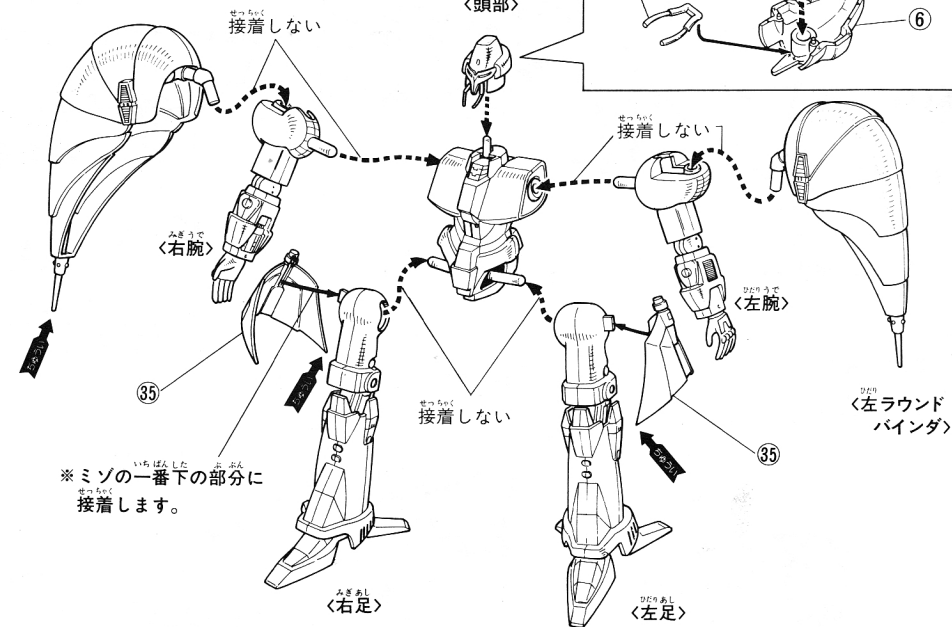


※31の向きは下の図のようになり ます。まちがえないでくだ さい。



## 6 《本体を組み立て》

右ラウンドバインダ



※ミソの一番下の部分に接着します。

## 7 《完成》

腕・足の関節部、ラウンドバインダなどが可動しますから、好きなポーズでかざってください。

《武器》

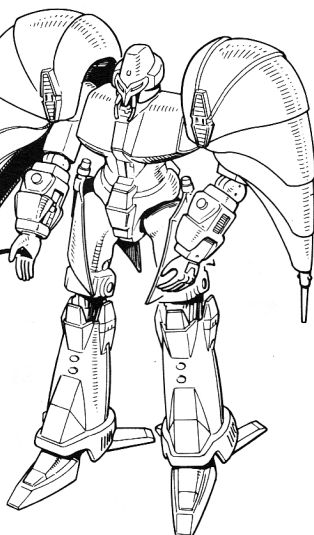
●ネービーブルーで塗ります。



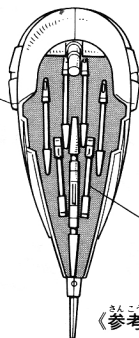
(ランサー)



●武器(ランサーなどは)手首に接着してもよいでしょう。



ラウンドバインダ



《武器類》

《参考図》

●オージェの武器を手にしたせない時は、ラウンドバインダの内側のカベに自由に配列し、接着してください。